



広報

なほ

市民の友

第667号 毎月1回発行
2006年(平成18年)

8月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株

市の人口と世帯

(注)内はうち外国人

2006(平成18)年6月末現在

総人口 315,714 (1,863)

男 152,520 (953)

女 163,194 (910)

世帯数 129,143 (1,061)

(住民基本台帳人口の内部(外国人を除く))

本 庁 93,151

真和志 105,613

首里 58,332

小 禄 56,755



琉球の至宝が身近に

那覇市歴史博物館開館

7月8日の「なほの日」に、市民・県民が待ち望んだ那覇市歴史博物館が、バレットくもじ4階にオープンしました。

常設展示室、特別展示室、企画展示室の三室で構成される同博物館は「王朝文化と都市の歴史」を基本テーマに、琉球王国時代から現代にいたるまで、「ひと・もの・情報」の交流拠点として発展し、独自の文化が育まれた那覇の歴史を紹介します。

開館にあたり市長は、「次代を担う子どもたちをはじめ、市民のみなさま、県内外の方々が、沖縄の歴史や文化に出合う貴重な施設になるものと確信しています」と期待を寄せていました。

また、開館と市制施行85周年を記念して特別展「国宝 琉球国王尚家関係資料『琉球王国の煌めき』」が、7月8日から8月30日まで開催されます。

これは、去る6月に県内では戦後初めて国宝に指定された「琉球国王尚家関係資料」から美術工芸品を中心に、約百点を前・後期に分けて展示します。

古の琉球の歴史を知る上でも大変貴重な文書・記録類が展示されます。この機会にぜひ、那覇市歴史博物館にお越しください。

(4・5面に関連記事)

主な紙面

ザッツがみ大作戦
救急車を呼ぶ前に
那覇の歴史と先人の魂に触れる
那覇市歴史博物館オープン
情報P ACK

6 4 3 2
7 5

協働のまちづくり

那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

市が呼びかけている「協働によるまちづくり」は、地域に暮らすみなさんもまちづくりに参加しようという意味です。

例えば、公園や道路がきれいなら、周囲に暮らすみんなが暮らしやすくなります。今、公園の里親や道路ボランティアといった形で、公園や道路の清掃活動に参加する住民や企業の方々が増えています。

本シリーズ「那覇を紡ぐ」の中でも、子どもたちの安全のためのスクールガード活動や防犯パトロール、地域おこしイベントの開催やまちづくりの方針書づくりなどが紹介されてきました。

いろいろな方々がまちづくりに関わる「協働によるまちづくり」が、少しずつ広がりはじめています。

ひろがり始めた「協働」

最近では、地域の問題や課題の解決に協力して取り組む住民の活動などを紹介するテレビ番組が、視聴率ランキングの上位に登場するなど、地域ぐるみの取り組みは視聴者の関心を集めているようです。

最近、地域における声かけ運動などを呼びかけるCMや、それに賛同する企業の紹介なども目にするようになりました。

地域の人間関係の希薄化などが言われて久しい世の中ですが、そ



2月23日に行われた道路ボランティア調印式から。協働によるまちづくりの意識は着々と広がっています。

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。

☎862-9942 秘書広報課

R100

再生紙を使用しています。